

凡例

- 一 漢字は、原則として常用漢字を用いた。
- 一 異体字・略字は正字に、旧字は常用漢字に改めた。但し、漢文・固有名詞など一部旧字を用いた箇所もある。
- 一 変体仮名は、平仮名に改めた。作品名はそのまま表記した。
- 一 合字の「メ」は、「シテ」と表記した。
- 一 繰り返し記号は、「々」（漢字）、「々々」（平仮名）、「ヽ」「ヾ」（片仮名）、「／＼」（二字以上の語）を用いた。
- 一 表記できない漢字は、(■) (※) (□) (□) で説明した。
- 一 史料の理解を助けるため、読点・句読点を適宜付した。
- 一 漢文・熟語の符号「丨」は、史料に近い位置に表記した。
- 一 本来、返り点や送り仮名があったと思われる箇所があるが、追記せずにそのままにした。